

DVD『歌は何のために』収録曲 和訳

<http://vpress.la.coocan.jp/jorikasi.html> より

- 1) コミューン万歳
- 2) 歌は何のために
- 3) マクドのマック・ストライキ
- 4) 路上で歌う
- 5) すべてがうまくいったのに！
- 6) バリケードへ！
- 7) 名前を明かさず
- 8) インターナショナル

1) コミューン万歳

赤い旗はやっぱり
働く市民の
最高のエンブレム

だから好きなんだ
働くものの旗が
いつも一番さ
コムニオン万歳、子供たち
コムニオン万歳

悪党は嫌いさ
鞭打ち刑もね
でも子供は皆好き
仲間たちもね

彼らと遊ぶとき
喜びを胸一杯に歌うのさ
コムニオン万歳、子供たち
コムニオン万歳！

コムニオンが何かわかるかい
無鉄砲なおチびさん
さあ、みんなよく聞こう
それは兄弟として生きること

そして大きくなったら
圧政者を撃退しよう
コムニオン万歳、子供たち
コムニオン万歳

共和国の権利を
打ち立てるため
王様とその一味を
撃退するんだ

神もイエスも
牧師なんかもいないよ
コムニオン万歳、子供たち
コムニオン万歳

2) 歌は何のために

「骨抜きにされた歌なんて
何のためにあるの？」
拳を握り締め、腕を広げ
チリの人々が言っていた

「抹殺される
古語のようじゃないか」
役に立ちたい
生きるため、夢を見るために

だれでも等しく
照らす月のように
役に立ちたい
私を愛し

愛するだろう人たちのために
そして、私を愛していた人たちのために
役に立ちたい
生きるため、歌うために

3) マクドのマック・ストライキ

マクドのマック・ストライキ、
マクドのマック・ストライキ…
（明け方から、ケチャップとプチパンの世界、
ポテトフライの臭いがたちのぼる）
マクドナルドの厨房はこんな有り様、
大混乱

通してくれ、ミルクシェイクを作らなくてはい
待ってくれ！ステーキを解凍しなければ！
油の側でははねに気をつけろ、やけどだ
腹がへっているのだったら、
空腹を和らげるために密かに
ひとつだけポテトフライを食べられる
やつらを信用してまかせると、
このポテトフライの代金は給料から天引きされ、お
前は首になるだろう……

盗んだ！盗んだ！盗んだ！盗んだ！盗んだ！…
商品のポテトフライ

マクドナルドの厨房はこんな有り様
大混乱

マクドナルドの厨房はこんな有り様
学業の方はどうにもならない
20歳で、時給40フランもらって

本当に幸せだ
それまでは兵役に行っていたが
今じゃマクドナルドで見習いやってる
だが、ビッグマックの二切れのパンの間を
駆けに駆け、授業に行く暇もない
今度も卒業できない
来年はできるだろう

マクドナルドの厨房はこんな有り様
学業の方はどうにもならない

マクドナルドの厨房はこんな有り様
だが、ストを打つことなど考えられない

一般のオフィスでも、マクドと同様、
職場に組合はない、組合なんて禁句だ
うまく立ち回らないと首になるぞ
お前の代わりはたくさんいるんだ
だが、すべてが変わったのだ
不安定雇用の連中がもはや黙っていないだろう
マクドからムリネックスへ
われわれは思い切って闘うことができるのだ。

マクドナルドの厨房はこんな有り様
ストを打つことが絶対に必要だ

大統領じゃない！
首相でもダメ！
政治家のサロンじゃ解決しないさ！
闘おう！
団結しよう！
組合をつくろう！

大統領じゃない！
首相でもダメ！
政治家のサロンじゃ解決しないさ！
闘おう！
団結しよう！
組合をつくろう！
抵抗しよう！

4) 路上で歌う

見知らぬ人々のために
路上で歌う

彼らの目を見て
一生懸命
楽しませようと

表情ひとつで
笑わせたり
微笑ませたり

これが私たちの
選んだ道
人生の賭け
路上は照明もなく
少し怖いところ

光は青空の下降り注ぐ

芝居が終わり 人々が去るとき
拍手が響くかな
朗らかな顔
魅了した証拠
これで十分だ

闘うとき 歌うんだ
気分も高まる

路上は自由な
政治の場
でも警官にや要注意！

デモ 蜂起 そして歌
僕らが集まると
抑圧者は震える
こちらは大勢だもの

でも恋人たちは
二人だけが一番さ

二人がやって来る
嬉しいことに僕らを聴きに来る

この歌は
二人のために歌おう

吟遊詩人は人生と愛を
いつも歌ってきたもの

5) すべてがうまくいっていたのに！

皆さん、覚えているだろうか
それはそれほど前のことではない
2001年9月10日のことだ。そう
2001年9月10日だ。この日にはまだ
すべてが上手くいっていたのに！
NATOは無力なロシアにまで
拡大し 膝を屈したセルビアはミロセヴィッチを
売り渡し
まったく何の罰も受けず
イラクを爆撃でき
パレスチナの地には
しらみつぶしのような監視体制をしいた
株の持ち主は
何もしないのにひと財産を築き
さらに左翼の価値観は
人道主義に取って代わられ
連中は巧妙な禁輸政策で
人々を飢えさせ
連中は戦車や大砲やロケット砲を売買し私腹を
肥やしていた

すべてが上手くいっていたのに
すべてが上手くいっていたのに
すべてが上手くいっていたのに
すべてが上手くいっていたのに！

けれども、
「50万人のイラクの子供たちを犠牲にすること
それはむづかしい選択だ。
だが、それはたしかに、やるに値することなのだ」など
と誰が言ったのか。
「M.オルブライトさん、どうもありがとう」
観客の皆さん、アメリカの「左翼」でした！

兵器を売り、憎しみを宣伝し
煽るための手段を

提供したのは、誰なのか

いや、それはわれわれではない
いや、それはわれわれではない
いや、それはわれわれではない
いや、それはわれわれではない！

マルクスは死に
そして反啓蒙の精神が見られるようになり
連中はテロリズムに資金を提供するための
お金を出し合い
連中はフツ族とツチ族のすべての死者を
数え上げていたにすぎない
でもパリではたまに
小さな爆発が起こるだけだった

すべてが上手くいっていたのに…
だがこの地球上で毎年
1300万人の子供が死んでいた
飢餓と病気で
同じ時、浮かれたアメリカは、
ハロウィンで 年に1度、怖い話をしながら楽しん
でいた
連中は株価をいっそう引き上げ、
工場で労働者の首を切っていた
すべてが上手くいっていたのに…

未来はグローバリゼーションの中にある
などと誰が言っているのか
世界秩序を作っているのは誰か
人々を支配しているのは誰か
貧困を利用して儲けているのは誰か
脅威と戦争を作り出しているのは誰か
世界を戦火に叩き込んでいるのは誰か
原発を作っているのは誰か
いや、それはわれわれではない…

一握りの小麦を求めて
手を差し出していた人々がいたのに
過食の人々は肥満をチェックし
老化への恐れが製薬会社を成長させていた
飢える第三世界がこれまでの自らの歴史の中の
死者の数を数えていたのに

スラム街の隅々にまでテレビがあった
くだらない娯楽を利用してその文化を作り出したの
は誰か
カラー映像で戦争を生放送で見っていた
？

両方が死ぬテレビゲームのように
すべてが上手くいっていたのに…

だが、大砲を売っているのは誰か、
それを買い、使っているのは誰か
だが、儲けをかつさらい、
停戦の間にひと財産を築いているの誰か
こうした商売が秘密のベールに包まれているのに正
義を決定するのは誰なのか
偏狭の考えの人々を作り出しているのは誰か
この耐え難い事態を維持しているの誰か

6) バリケードへ！

黒い嵐が大気を揺さぶり
暗雲が視界を遮る
痛みと死が我々を待っていたとしても
敵に立ち向かわねばならない

最も価値のあるものは自由だ
そのために戦おう、信念と勇気をもって

革命の旗を揚げよう
人々に解放をもたらすであろう旗を

労働者諸君、立ち上がって戦おう
反動勢力を打倒せねば
バリケードへ、バリケードへ
連合（同盟）の勝利のため

7) 名前を明かさず

名前を明かさず、あの娘について話そう
片思いの恋人を語るように
目覚めようとする、生き生きとした娘
太陽の下、輝く未来に

打ちのめされ
追跡され、追い詰められ
そして彼女は立ち上がり
苦しみ、ストを決行し
鎖につながれ
裏切られ、見捨てられ
それでも生きる勇気を授けてくれる
彼女にならついて行きたい
どこまでも

名前は明かさずに、彼女にオマージュを捧げよう
五月の美しい花、野生の果実
両足でしっかりと大地にたつ娘
そして気の赴くままに生きる娘

名前は明かさず、彼女について話そう
愛され、憎まれ、でも忠実な彼女
あなたにも紹介したい
人は彼女を永久革命と呼ぶ

戦艦ポチョムキンの水平たちのために
弾圧された評議会の平和主義者
クラオン（塹壕戦の）謀反兵
サッコとバンゼッティ
ローザ・ルクセンブルグとK.リープクネヒト
1936年のスト参加者
オビエドの炭鉱夫
スペイン内戦の義勇兵
アナキストの兄弟たちの勇気を讃えて
レジスタンスの兵士

マヌシアンとその二十二人の仲間たち
レジスタンスの外国人たち闘士たち
シャロンヌ駅で踏み倒されたデモ参加者
1961年10月17日、セーヌに投げ込まれたアルジェリア人
ビクトル・ハラ
1968年の900万人のスト参加者
チェ・ゲバラとそのゲリラ仲間
リバプールの港湾労働者
ソウルの労働者
アメリカの経済政策に苦しむキューバ人民のために
チュニジア人民
モロッコ人民
クルド人
トルコの囚人
アルジェリア人民と
カビールの仲間たちのために
アルゼンチン人民、
旧ユーゴ人民
チェチェン人民
南北の كوريا人民
ルワンダとスーダンの人民
シエラ・レオネ人民
サラウィの民
ブラジルの土地なし農民
ジンバブエの農民
チアパスのインディオ
ムミア・アブ・ジャマル
レオナルド・ペルチエ
合衆国の牢獄で処刑されたすべての無実の囚人のために
ナタリー・メニゴとその仲間の政治犯
「オーバーステイ」の人たち、路上生活者、失業者
の闘いのために
ロム

セザレ・バツティスティ
コート・ジボワールの人民のために
コンゴ、そしてハイチの人民、
イラク人民、

パレスチナ人民
そしてイスラエルの平和主義者
その数はまだあまりにも足りないけれども

8) インターナショナル

この闘いに集えよ
明日はインターナショナル
我らがもの

王達は空約束ばかり
われらは和平を、暴君には戦争を
ストを軍隊に広めよう
戦闘命令を拒み、解散しよう
それでも、あの人食いどもが
われらを英雄にしようとするなら
われらの銃弾で狙われるのは

われらの将軍どもだと思い知るだろう

世界中の被抑圧者たちの頭を離れない
あの歌詞をうみ出したのは
われらの詩人のひとり
ウージェーヌ・ポチエ。
たしかに世の中は変わった
でも被搾取者や失業者、
飢えた子供の数は減ったのだろうか？
もうあの歌を歌うのを
辞めてしまってもいいのだろうか？

<http://vpress.la.cocan.jp/jorikasi.html> より